

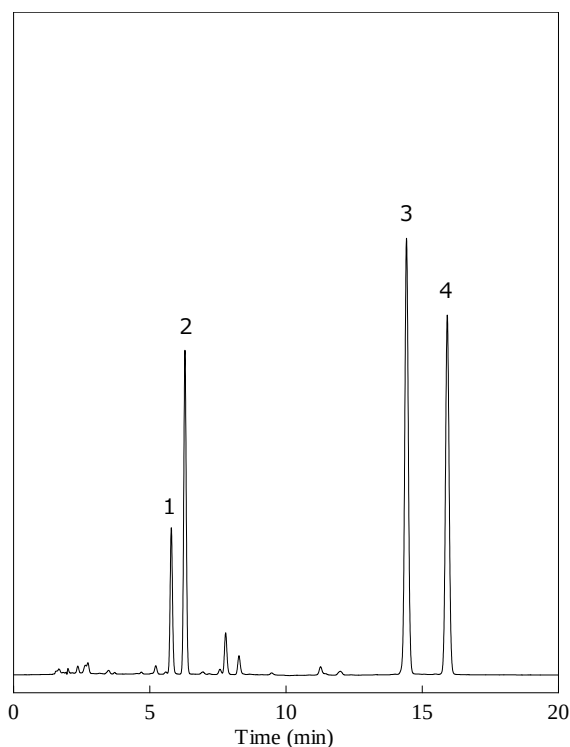
ヘスペリジン、ナリンギン Hesperidin, Naringin

ヘスペリジン(ビタミンP)、ナリンギンはかんきつ類などの薄皮に多く含まれているポリフェノールです。ビタミンCの吸収を助ける役割や血圧の上昇を防ぐ役割などがあり、サプリメントでも広く販売されています。ここでは、ヘスペリジン、ナリンギン、それらのアグリコンであるヘスペレチン、ナリンゲニンをHPLC分析しました。これらのポリフェノールには金属配位性があるため、吸着するカラムもありますが、*L-column2 ODS* は最適な分離とピーク形状をもたらします。

Key words : ヘスペリジン ナリンギン 金属配位
Column : USP category: L1

[Analytical conditions]

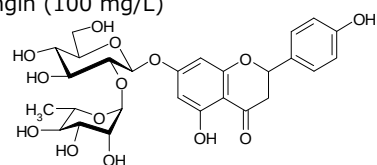
Column : *L-column2 ODS* (C18, 5 μ m, 12 nm), 4.6 mm I.D. $\times$ 150 mm L.; Cat. No. 722070
Eluent : A: CH₃CN; B: 20 mM H₃PO₄ in H₂O
A/B, 20/80-40/60 (0-20 min)
Flow rate : 1 mL/min
Temperature : 40°C
Detection : UV 285 nm
Injection volume : 5 μ L
System : -



Sample:

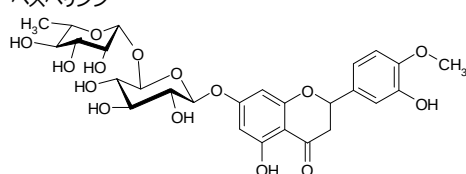
1. Naringin (100 mg/L)

ナリンギン



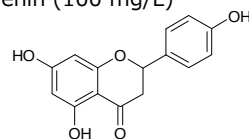
2. Hesperidin (200 mg/L)

ヘスペリジン



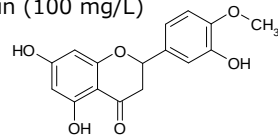
3. Naringenin (100 mg/L)

ナリンゲニン



4. Hesperetin (100 mg/L)

ヘスペレチン



Sample solvent:

CH₃CN/H₂O/0.1 M KOH (4/5/1)